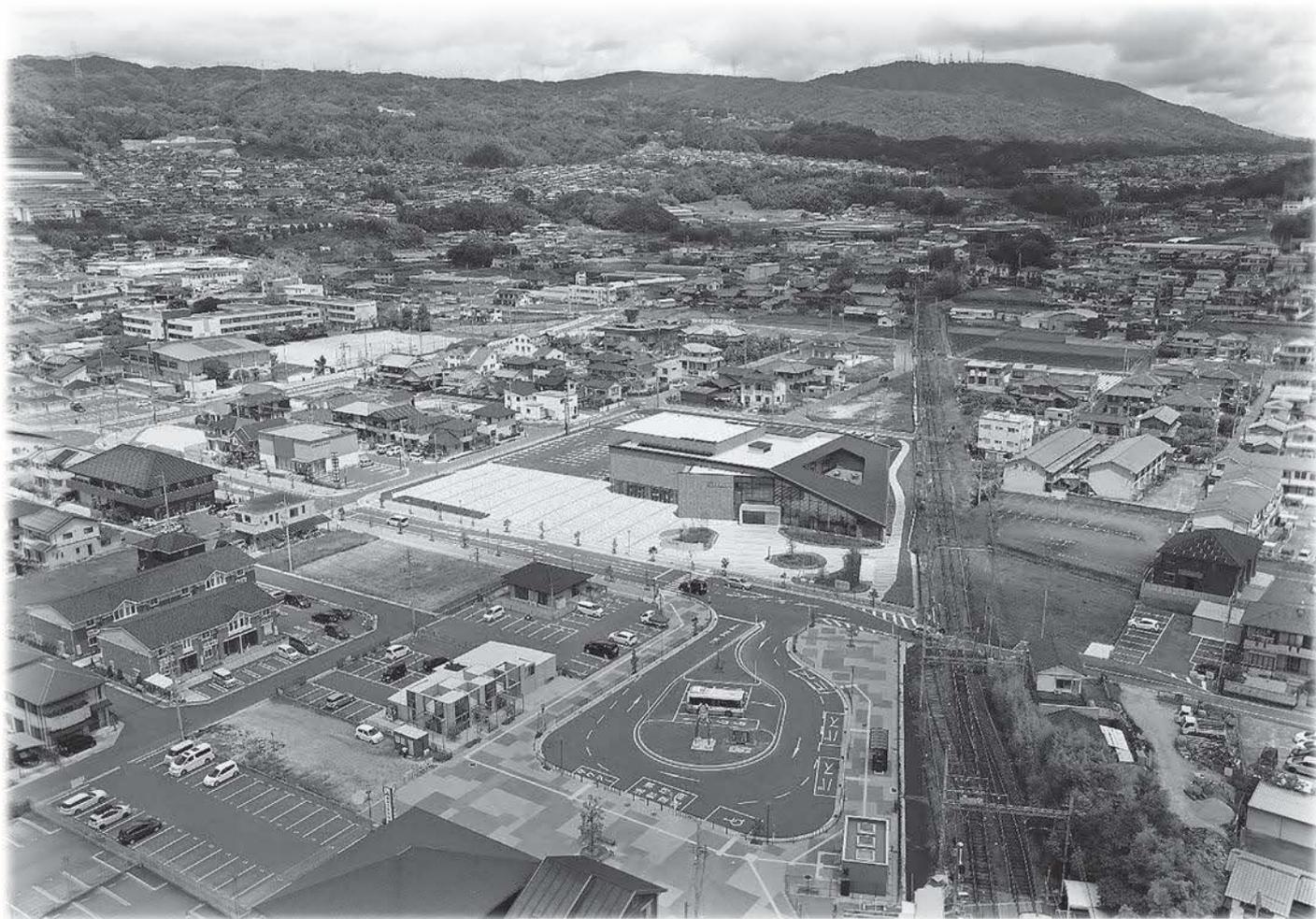


町行財政の現状と展望

～みんなが笑顔になるまちを目指して～



上空より望む平群駅周辺

令和3年1月
奈良県 平群町



1. はじめに

年が改まり、厳しい寒さの中にもすがすがしさが感じられる日々ですが、皆さまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。

本来なら今年度も住民説明会を開催し、様々な行政課題について町民の皆さまと直接お話をし、ご意見を拝聴する場を持たせていただく予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から住民説明会の開催は中止し、資料の配布のみとさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年4月、住民の皆さまが待ち望んでいた平群町総合文化センターが完成しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部制限を設けての開館となっておりますが、この施設は、高齢者から子どもまで幅広い世代が集うコミュニティ拠点として、文化交流、情報発信、にぎわい創出をコンセプトに、皆さまに愛され親しまれる施設になるように運営していきたいと考えております。

町財政の現状は、歳出において、土地開発公社の清算に伴い発行した第三セクター等改革推進債や、平群駅周辺整備事業建設などにより発行した地方債の返済が、大きな負担となっております。一方、歳入においては、少子高齢化・人口減少等により町税収入が減少傾向にあることなど、財源不足の状態が続く見込みで、本町の財政状況は予断を許さない状況にあります。

引き続き、財政健全化に向け取り組みを強化することが私に課せられた最大の課題であり、鋭意取り組んでまいり所存です。住民の皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

この資料では、平群町第5次総合計画に基づいた事務事業の進捗状況、新型コロナウイルス感染症対策として住民生活・社会経済への支援や、次なる流行の波に対応するための町独自の支援策、現在の財政状況などについて、ご説明を申し上げます。

現在抱えている様々な課題、財政の厳しい状況を始め、少子高齢化や人口減少対策などに対応するには、住民の皆さまが、平群町の「まちづくり」に参加いただき、行政との協働による「まちづくり」を推進することが必要です。

今年の2月には町制施行50周年を迎えることとなります。50年という節目となる年に、その歴史と伝統を振り返りながら、平群町の魅力を再発見し、まちに対する誇りや愛着を育てて頂けるよう、「誰もが安心して住み続けられる、みんなが笑顔になるまちづくり」を目指して、皆さまと共に力を尽くしてまいります。これまで同様、町政に対しまして温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年1月
平群町長 西脇 洋貴



2. みんなが笑顔になるまちづくり

『子育てしやすいまちづくり』

1 学校ICT教育環境の整備 ～小・中学校の情報端末整備と校内LAN整備～

国のGIGAスクール構想に基づき、学校ICT教育の推進として、国の補助金等を活用し、児童生徒1人1台の情報端末の整備と、学校内で高速情報通信が可能となる校内LANの整備、小・中学校の普通教室等に大型のデジタルモニターを整備しています。

2 快適で安全な学校生活（エアコン・トイレ整備）

夏場における熱中症対策として、小・中学校の普通教室にエアコンを設置しました。これにより普通教室・特別支援教室におけるエアコン設置率は100%となりました。

あわせて、小・中学校のトイレ洋式化に取り組んでいます。

（平小 100%、北小 37.5%、南小 59.2%、平群中 67.5%）

※令和2年8月末現在

3 学童保育の運営 ～安心の子育て支援、近隣の中でも高いサービス水準～

子ども達の放課後の居場所づくりや、保護者等の子育て支援、就労支援を目的として、町内3小学校に学童保育所を設置、運営を行っています。これまで保育時間の延長や、安価な保育料の設定など、子育て世帯および多子世帯の保護者の負担軽減を行っています。令和2年度からは平群学童、南学童保育所の定員を増やし、安心の子育て支援を進めています。



学童保育の様子

4 子ども医療費無料 ～高校3年生まで～

子ども医療費は、18歳以後最初の3月末日（高校3年生の年度末）まで無料です。平群町では所得制限もなく、本人の一部負担も町単独事業で助成しています。

5 病児保育所の開設（西和地域病児保育室）

保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的として、平群町、三郷町、斑鳩町、上牧町、王寺町の西和5町の連携協約により、西和医療センター敷地内に「西和地域病児保育室（いちごルーム）」を開設し、令和2年1月15日から、病児保育事業を実施しています。



西和地域病児保育室 いちごルーム

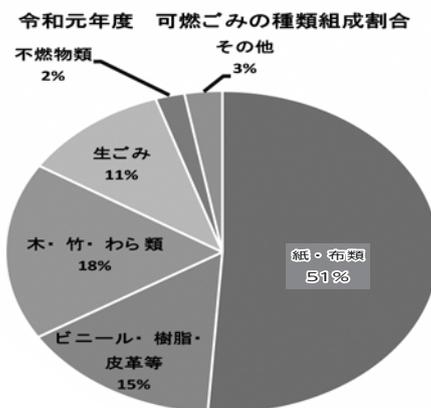
『環境循環のまちづくり』

1 ごみ減量化の取組 ～皆さまのご理解とご協力を得てごみ減量化の取組を実施～

【ごみを減量するには？】

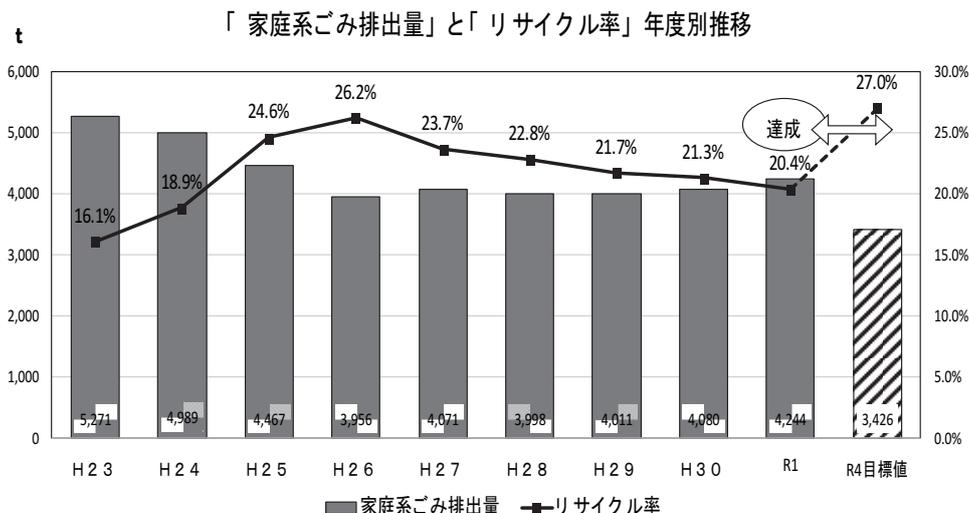
「リサイクルからリデュースへ」が有効と考えられています。みなさんが分別した資源ごみは、回収後、清掃センターに運ばれます。その後、職員の手作業で分別や減容化をし、各処理業者へ処分を依頼します。しかし、その処理費用は決して安くはありません。

ごみの分別に引き続きご協力頂くとともに、資源ごみの量を減らすこと（リデュース）へのご協力をお願いします。



《家庭系ごみ排出量△35%（平成23年度比）削減を目指します！》

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R4目標値
家庭系ごみ排出量	5,271	4,989	4,467	3,956	4,071	3,998	4,011	4,080	4,244	3,426
家庭系ごみ削減率H23基準	0%	5.4%	15.3%	24.9%	22.8%	24.2%	23.9%	22.6%	19.5%	35.0%
リサイクル率	16.1%	18.9%	24.6%	26.2%	23.7%	22.8%	21.7%	21.3%	20.4%	27.0%



資源ゴミ分別作業の様子

ごみ減量化の具体的取組

1. 家庭可燃ごみの有料指定袋制
2. 廃プラ、ペット、トレイの拠点収集
3. かん、ピンのコンテナによる分別収集
4. 使用済小型家電の回収
5. 廃食用油の回収
6. 有価物集団回収助成金
7. 自治会のごみ集積所整備補助
8. 家庭用生ごみ処理機の購入補助
9. ふれあい収集(ごみ出し困難世帯に対するごみ収集)
10. ごみ減量啓発イベント(ごみ減量Fiesta・環境Fiesta)
11. 剪定枝の粉碎機の無償貸出
12. 紙資源置場の設置(役場東側公用車駐車場)
13. 食器類、子ども服・子ども用品の窓口引き取り

小型家電回収ボックス設置箇所

1. プライスカット生駒東山店
2. 平群町役場水道庁舎
3. Aコープハートフルへぐり
4. 老人福祉センター「かしのき荘」
5. 平群町役場本庁舎
6. 総合スポーツセンター
7. 道の駅「大和路へぐりくまがしステーション」
8. 保健福祉センター「プリズムへぐり」

『観光・発信のまちづくり』

1 広報PR

平群町の「自然」「歴史」「農産物」「暮らし」など町の魅力を余すことなく、観光ホームページ「山のぼっけNAV I.」や平群町・教育委員会 Facebook を活用して広く発信し続けることで、すべての人々にとって心豊かで幸せであると感じられる地域社会を目指します。

2 平群ブランド認定

地域が誇れる一定の基準を満たした“良いもの”を平群ブランドと認定し、町が自慢できるものとして広く発信し、良好なイメージの定着を図ります。

令和2年1月、新たに「金時いもジェラート“へぐりっこ®”」「くまがし自家製ジャム（古都華）、くまがし手作り味噌」を新たに認定しました。



平群ブランド認定品には、このマークが付いています。

平群ブランド認定品目一覧	
農産物	イチゴ「古都華」・ブドウ「テラウェア、巨峰」
	バラ・コギク「平群の小菊」
加工品	イタリアンジェラート（いちご）
	金時いもジェラート「へぐりっこ®」
	くまがし自家製ジャム（古都華）
	くまがし手作り味噌
文化財等 地域資源	信貴山朝護孫子寺・千光寺



道の駅くまがしステーションでの販売風景

3 文化財資源の保全

さびによる劣化が進み、町外博物館への貸出等の活用に支障が生じていた、町指定文化財（剣上塚古墳出土馬具3点）の保存処理を実施しました（委託機関：公益財団法人元興寺文化財研究所）。今後、総合文化センターでの展示など、活用の方法を検討していきます。



総合文化センターでの展示風景

『産業における戦略』

1 商業店舗等の立地誘導と企業誘致～バイパス沿道の活性化～

国道168号線および平群バイパス沿道地区において、多様な買い物ニーズへの対応と町全体の活性化を目的に、広域的な生活関連サービス施設の立地誘導を進めています。

また、本町の都市計画マスタープランで「工業ゾーン」と位置付けている上庄地区に自然環境に配慮した『無公害型企业』を誘致するため、奈良県主催の企業立地セミナー等を積極的に活用して、PR活動を展開してまいります。



上庄地区の風景

2 地域産業活性化、6次産業化の推進 ～近畿大学農学部と民間企業連携～

農業を核とした長期的な取り組みの一環として、農産物の生産から販売までの仕組みづくり（6次産業化）に向けた加工品開発に取り組み、地域の活性化に繋がります。

近畿大学農学部と民間企業による産学官連携の取組において、“すもーく大豆（近豆版）”を新たに商品化し、阪急梅田本店及び道の駅くまがしステーションで販売を行いました。

また、近畿大学と平群町の包括連携協定の一環として、近大奈良病院の入院患者の食事用にイチゴ、ブドウ、マコモタケ等の農産物に加え、栄養学科の学生が作った巨峰のタルトを提供しました。

今後も、更なる地域資源を活用した取り組みの拡充を目指します。



近大農学部のみなさん（平群町内の実習ほ場にて）

『住みよさの追求』

1 災害に強いまちづくりと地域の防災力の推進

【自主防災組織の結成】結成 29 団体 組織率 87.7%

災害発生時に大切な「命」を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「共助」の要である地域自主防災組織の結成推進と防災研修会として出前講座などを開催しています。



防災研修でのグループワーク

【防災備蓄品の確保と防災協定の推進】

水や食料・衛生品などの防災備蓄品を町指定避難所など 12 箇所の施設で分散備蓄し、災害時に迅速な対応ができるよう努めています。

また、物資の供給や施設の応急復旧のため民間企業 29 社および行政機関 8 団体と防災協定を結び、防災力の強化に努めています。



防災備蓄用品

【地域防災計画等の見直しと防災行政無線の整備】

風水害や地震を想定した地域防災計画を見直し、同時に防災ハザードマップの見直しを行いました。その中で一部避難所や、奈良県が調査した「土砂災害警戒区域」の危険箇所、竜田川沿いの危険区域について更新を行い、各戸配布しています。また、災害情報を迅速・確実に発信できるよう防災行政無線をデジタル方式に更新し、運用しています。

2 定住化促進施策

【定住促進奨励金交付制度】

新規に住宅を取得した方へ「家屋の固定資産税相当分3年間分」を奨励金として交付を行っています。

※令和2年12月31日までの取得に限ります。



【空き家対策 ～空き家バンクのご活用を～】

空き家も含めた良質な住宅ストックを活用し、定住促進策の一環として、空き家の情報提供を行う空き家バンク制度を運用しています。お住まいをお探しの方々から相談、問合せも増えてきていますが、登録件数は少ない状況にあります。更なる本制度の積極的な運用や各種の相談支援などを通じて空き家の流通促進、定住促進を図ります。町内でお住まいをお探しの方へ多くの情報を発信できるよう、空き家等の所有者等の方で、売却、賃貸等の活用を希望される方は、空き家バンク制度をご利用ください。

～日頃から空き家等の適正管理を～

敷地の草木、樹木の繁茂等などの管理が不十分となっている空き家等について、その所有者等へ日頃から周辺環境に配慮し、適正な維持管理を行って頂くよう指導しています。

3 交通安全対策

【平群駅の北側踏切に歩道設置】

狭隘な踏切道の歩道設置工事について、近畿日本鉄道と協定書が締結され、今年度中に歩道が設置されることになりました。車道3.1mが北側へ移設、歩道2.0mの踏切に改良されます。車道は拡幅されませんが、歩行者の安全性が向上します。



4 コミュニティバス事業 《持続可能で環境にもやさしい「公共交通主体のまちづくり」》

コミュニティバスは、①町民の健康維持、②通学支援、③観光支援（地域活性化）等を目的に、平成17年7月より「あいバス」の愛称でスタートしました。現在、町内全域を2ルート（西山間、南北循環）で運行しており、今後も「一人でも多くの方に愛され親しまれるよう努めてまいります。また、地域住民への外出支援を目的にコミュニティバスの無料乗車（令和2年8月1日から令和3年3月31日まで）を実施しています。



5 高齢者施策 ～インフルエンザ予防接種無料化～

65歳以上の方や60歳～65歳未満で基礎疾患のある方は、令和2年度に限り予防接種を無料化しています。冬場の新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えるため、接種率向上を目指します。

6 平群町総合文化センターオープン

平成30年10月より建設を進めてきました平群町総合文化センターが完成し、令和2年4月11日（土）に開館記念式典を開催しました。この施設は、高齢者から子どもまで幅広い世代の皆さまが集い・交流するコミュニティ活動の拠点として、また、併設する図書館との連携による地域活動の拠点として、町の歴史を学び、文化が生まれ育つ施設として利活用していきます。あわせて、昨年度街びらきを行った平群駅周辺整備事業との相乗効果により平群駅周辺の活力と賑わい創出を図ります。



外観（平群駅前より）

	開館時間	休館日
中央公民館	9:00~21:00	水曜日、祝日
人権交流センター		12/28~1/5
図書館	（平日・日曜日）	水曜日、祝日
	9:30~17:00	12/28~1/5
	（土曜日）	館内整理日、 特別整理期間
	9:30~19:00	



平群駅前広場と総合文化センター

【中央公民館】

平土間での利用と移動観覧席などを利用して多目的な使用ができる「くまがしホール」や、様々な活動に応じた会議室も整備され、文化芸術活動の拠点としてご利用していただけるよう整備しています。

【人権交流センター】

旧人権交流センターで実施されてきた事業を一部承継し、人権啓発相談室を利用して人権教育の拠点としての役割を担います。

【図書館】

蔵書数約8万冊の図書館となり、さらなる利用者の知的支援の拠点として整備し、まちの案内コーナーも併設しており、地域の情報収集発信機能も備えています。図書予約・リクエストを受け付けています。



くまがしホール



人権啓発・相談室



図書館

3. 新型コロナウイルス感染症の町独自支援策について

1 暮らしを守る生活支援策

【プレミアム付商品券の発行】

町内店舗で使用可能な「プレミアム付商品券」を発行し、町内消費を喚起しています。取扱い店舗など詳細は、町ホームページをご覧ください。

※商品券額面：5,000円（購入額 2,500円）



プレミアム付商品券

【在宅におけるオンライン学習の環境整備】

子どもたちの在宅におけるオンライン学習を支援するため、自宅にインターネット環境や PC 端末等がないご家庭に対し、タブレット等の情報端末を整備して貸出します。



貸出用のタブレット端末

【悪質商法等に対する生活支援（特殊詐欺通話録音装置の助成）】

新型コロナウイルス感染症に便乗した悪質商法や特殊詐欺から住民の暮らしを守るため、各ご家庭に設置する特殊詐欺通話録音装置の設置費を支給しています。

※上限 1 万円（1 世帯につき 1 台）



特殊詐欺通話録音装置

【中小企業者等事業継続支援金の拡充】

事業活動に影響を受けている町内の中小企業・個人事業主を対象に、家賃などの固定費や運転資金など事業の継続に幅広く活用できる支援金を支給しています。

給付額：法人 10 万円、個人事業者 5 万円

※対象：「持続化給付金」など他制度において事業継続の補助認定を受けている事業者

【自治会応援補助金】

自治会活動を行う上で、新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費の一部を補助しています。

【出産祝い金の支給】

子育てにかかる生活支援として、国の「特別定額給付金」の基準日を過ぎて生まれた子どもを対象に、一人当たり 10 万円の出産祝い金を支給しています。

※対象者：令和 2 年 4 月 28 日から令和 3 年 3 月 31 日に生まれた新生児

【子育て世帯生活支援給付金の支給】

学校等の臨時休業、事業所の休業等により、特に子育て世帯の負担が増加していることから、その負担軽減として、児童一人あたり1.5万円の給付金を支給しています。

【ひとり親世帯生活支援給付金の支給】

就業環境の変化による影響を受けやすい、ひとり親世帯の生活を支援するため、児童一人あたり1.5万円の給付金を支給しています。

【その他】

水道（基本料金）の免除（令和2年7月請求分から9月請求分まで）や学校給食費の無償化（令和2年7月・8月相当分）を実施したほか、国の臨時交付金を活用し、小・中学校、こども園・学童保育所における新型コロナウイルス対策として、衛生用品の継続した調達、空気清浄機、換気のための扇風機や網戸設置、空調設備の整備などの様々な対策を講じています。

2 「新しい生活様式」への環境整備など

【学校・こども園等における感染症対策】

安心して教育保育活動が行えるよう感染症予防・熱中症対策等に必要な物資や環境整備を行っています。

衛生用品、サーキュレーター、空気清浄機 など

【避難所における感染症対策】

避難所における感染症対策として、物資調達や防災備蓄品等の充実を図ります。

段ボールベッド、体温検知カメラ、発電機など



段ボールベッド



体温検知カメラ

【スマートな行政手続きの推進】

行政手続きのオンライン化・電子処理化、ネット発信の強化を図ります。

新たな選挙システムの導入や、町ホームページのリニューアルを図ります。

【図書館における読書活動支援】

住民の読書活動の推進や生涯学習を支援するため、蔵書整備を推進します。



図書館の様子

【「3密」対策実施による公共施設の運営】

より安全な運営・公共空間の確保を目指し、環境整備工事や物資などの確保を行います。

4. 財政状況と健全化に向けた取り組みについて

1 これまでの決算概要（普通会計）

（単位：千円、％）

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R01	
歳入総額	7,929,839	7,424,699	7,675,223	7,045,301	8,948,325	8,468,850	
主なもの	町税	2,008,015	1,991,917	1,992,092	2,011,874	1,975,807	1,963,328
	地方交付税	2,090,749	2,206,171	2,178,908	2,266,183	2,295,771	2,375,269
	地方債	1,566,172	969,397	1,054,194	722,402	2,002,624	1,640,409
	うち臨時財政対策債	334,572	322,097	259,594	278,802	272,224	216,709
歳出総額	7,635,015	7,138,163	7,484,317	6,821,619	8,846,243	8,285,728	
主なもの	人件費	1,499,946	1,549,725	1,527,888	1,456,507	1,452,634	1,474,995
	公債費	985,696	920,902	1,039,422	1,039,685	1,062,838	1,094,144
	扶助費	726,600	737,902	800,336	785,882	759,451	790,890
	普通建設事業費	1,574,937	976,402	1,258,260	706,943	2,737,606	1,928,510
歳入歳出差引	294,824	286,536	190,906	223,682	102,082	183,122	
①実質収支	166,176	238,412	168,053	194,652	74,704	170,433	
②実質単年度収支	136,982	248,566	△ 261,198	△ 20,913	△ 143,718	145,730	
③経常収支比率	94.4	93.6	98.9	96.1	98.9	99.9	
④実質公債費比率	13.7	12.6	13.2	14.2	15.6	16.1	
⑤将来負担比率	221.1	202.4	219.3	216.1	225.7	241.3	
地方債（借金）残高	13,443,538	13,625,155	13,762,085	13,552,117	14,588,362	15,223,538	
基金（積立金）現在高	373,033	557,520	354,283	315,497	289,878	360,566	
うち財政調整基金 現在高	178,988	355,318	164,479	116,967	93,197	143,198	

※⑤将来負担比率 令和元年度 241.3 は、奈良県下で最高値

その年度の決算が黒字か赤字を判断する【①実質収支】は平成 22 年度以降黒字です。また、その年一年の収支を判断する【②実質単年度収支】も令和元年度決算で 4 年ぶりに黒字となりました。しかしながら、【③経常収支比率】【④実質公債費比率】【⑤将来負担比率】などの財政指標は、全国平均を大きく上回る水準であり、硬直した財政状況となっていることから、今後も行政政運営については慎重に行っていく必要があります。

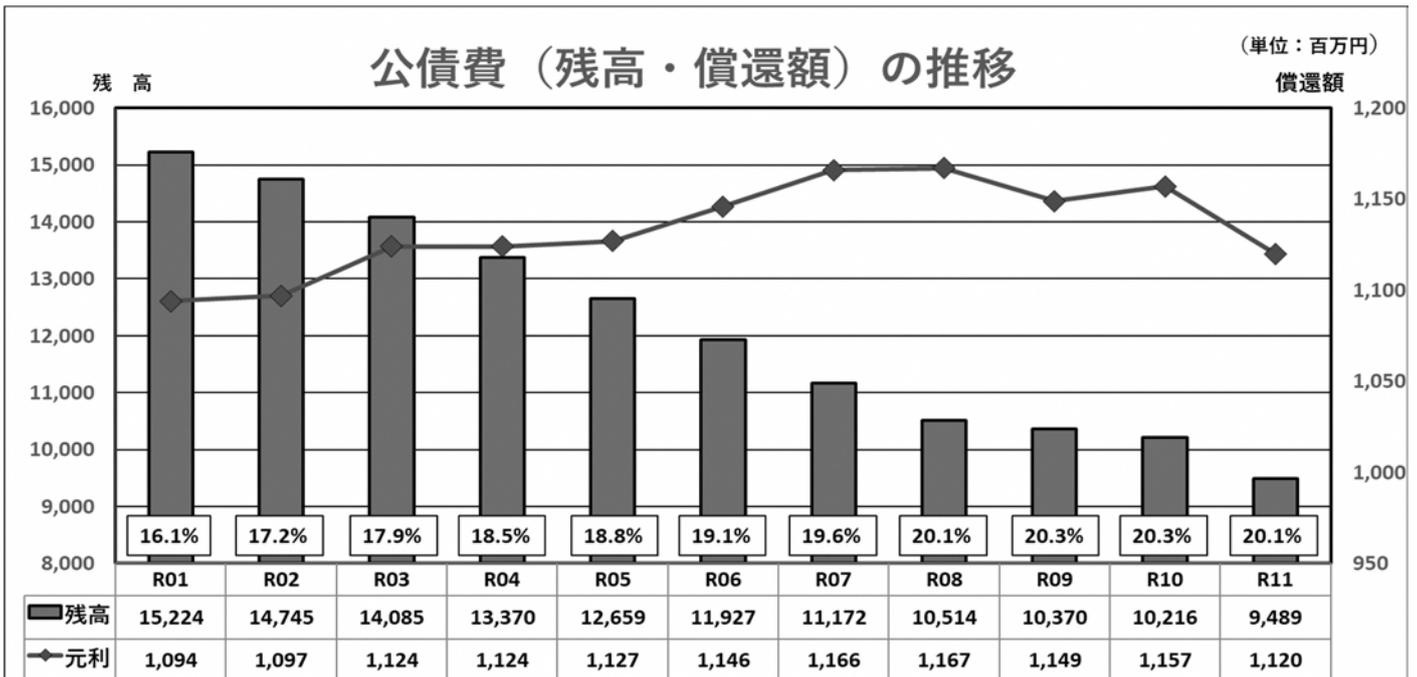
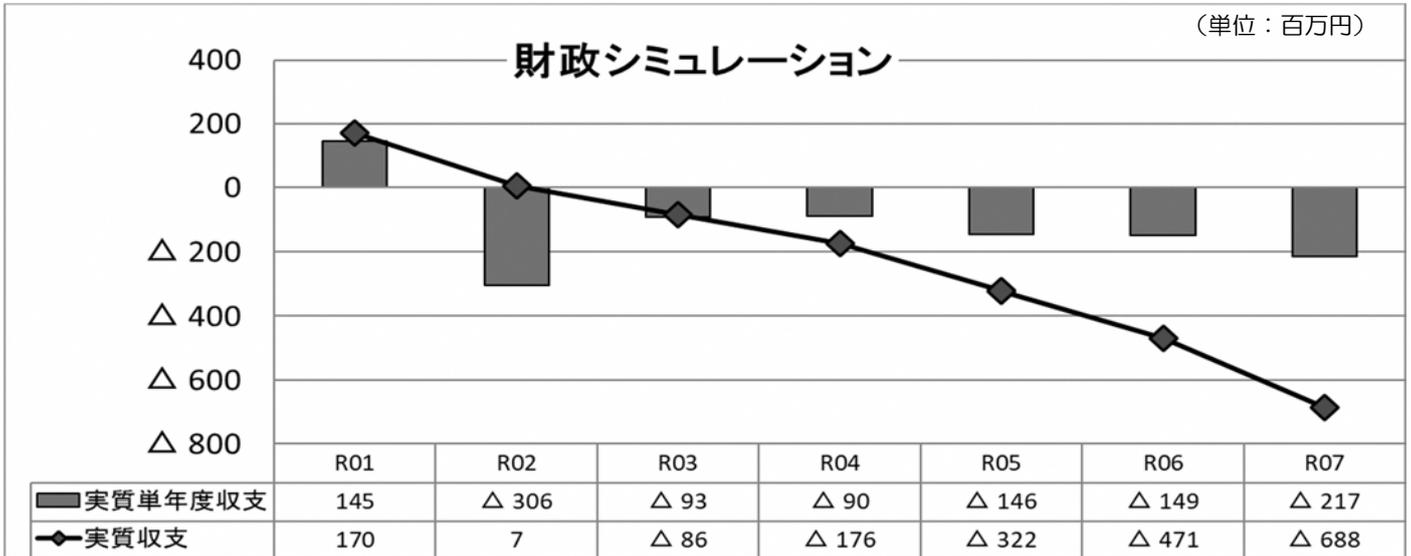
■■■ 財政用語説明 ■■■

①実質収支	町財政の累積黒字額・△累積赤字額 （歳入総額－歳出総額－翌年度繰越額）
②実質単年度収支	単年度における収支から基金の積立、取崩しなどを除いた額
③経常収支比率	人件費や地方債の返済、社会保障費などの負担の重さ 財政構造の弾力性をみる指標で 80～90%が望ましい （H30 全国平均 93.0%）
④実質公債費比率	地方債返済の負担の重さ （参考：25%超 早期健全化団体、35%超 財政再生団体） （H30 全国平均 6.1%）
⑤将来負担比率	地方債残高や土地開発公社の負債など将来の債務負担の大きさ （参考：350%超 早期健全化団体） （H30 全国平均 28.9%）

2 今後の収支見通し

■■■ 主な課題 ■■■

- ①平群駅周辺整備事業の清算に多額の財政出動が生じます。(駅周事業への損失補てん)
- ②これまで土地開発公社の解散や平群駅周辺整備事業、総合文化センター建設などにより発行した地方債の返済が、今後、大きな財政負担となっています。(公債費の負担)



歳入の増加が見込めない中、このままでは、令和3年度には「実質収支」が赤字となる見通しです。特に公債費は、令和元年度末の残高が約152億円となっており、その返済に、毎年度11億円超が必要となってきます。

< 財政健全化の取組と推進（第2次財政健全化計画） >

このような厳しい財政状況を改善するため、町では「第2次財政健全化計画（平成29年度～令和3年度）」に取り組んでおります。この計画は、組織改編等による【総人件費の抑制】や、【事業の整理・合理化】、【町有資産の計画的な処分】といった、あくまでも行政内部の改革を最優先とし、住民生活に直接関連する住民負担の増加は極力抑える改善策として実行しています。

町民の皆さまへお願い

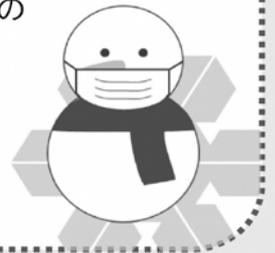
冬の感染対策へのご協力をお願いします

新型コロナとインフルエンザを予防しましょう！

冬の感染対策

冬は色々な感染症が流行しやすい季節です。特に冬に流行するインフルエンザは、症状だけでは新型コロナウイルスとの判別が難しくなります。

しかし、みんなが「新型コロナウイルス対策」を行うことで、他のウイルスも流行しにくくなります。予防可能な病気については、あらかじめ予防接種を受けることも大切です。



ひとりひとりができる感染対策を徹底しましょう

寒くなると、換気や冷たい水での手洗いは、億劫になってしまいますが、新型コロナウイルス以外の感染症を予防するためにも、ひとりひとりができる感染対策を徹底しましょう。



マスクの着用



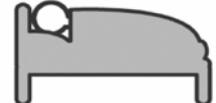
こまめに手洗い



定期的な換気



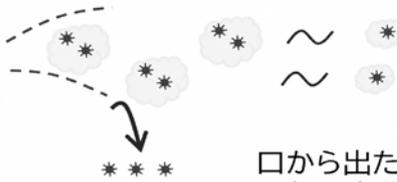
座る位置や
間隔に注意



体調が悪い時は
無理せず安静に

加湿と換気が大事です

湿度40～60%が効果的です(加湿しすぎも、乾燥しすぎも避けましょう)。



口から出た飛沫は水分が多く床などに落ちていきますが、一部は水分が蒸発しウイルスが空気中を漂います。

暖房を利用すると、空気が乾燥しやすくなります。部屋が乾燥すると、水分が蒸発した軽い飛まつが霧状に広がります。加湿器などを利用し、空気中を漂うウイルスを減らすことが大切です。

同時に、机などに落ちる飛まつが増えるため、アルコール等による拭き掃除や手指消毒をしっかり行いましょう。

また、空気中を漂うウイルスを薄めるために、定期的な換気も大切です。

M E M O

ご意見をお持ちの方は、下記のメールアドレスまでご連絡ください。なお、お寄せいただいたご意見は、個別に返答はいたしません。今後の行政運営の参考とさせていただきます。

メール：info@town.heguri.nara.jp

編集・発行

奈良県 平群町

TEL 0745-45-1001

FAX 0745-45-6619

URL <http://www.town.heguri.nara.jp>